

苫小牧港西港区真古舞地区国際物流ターミナル整備事業



R2.12.7撮影



苫小牧港の概要

苫小牧港は、昭和26年から本格的な港湾整備が始まり、昭和56年には「特定重要港湾」（平成23年4月から「国際拠点港湾」に変更）に指定されており、本道経済はもとより日本経済の安定的発展にも大きな役割を果たしています。

苫小牧港における取扱貨物量は全国で4位、その中でも内貿取扱貨物量は平成13年から18年連続全国1位（平成30年港湾統計より）で、北海道全体の5割以上が苫小牧港を利用して海上輸送されています。

さらに、通常の港湾は、海を埋め立てで作られるのが一般的ですが、苫小牧港は陸地を掘ることで整備されてきた港湾であり、平成30年には『苫小牧港大規模掘込港湾施設』として、土木学会選奨土木遺産に選ばれています。

岸壁ができるまで

基礎マウンド製作



石を海中に投入して、岸壁の土台を作ります。
1つ30kg～300kgもある石を使っています。



海中に投入した石を平らにします。苫小牧港の工事ではモンケンという突き棒で何度も叩いて平らにする方法を行いました。



最後は、でこぼこが5cm以下になるように、人力で平らに仕上げていきます。基礎マウンドが完成したら、マウンドの上のせる岸壁本体の作成です。

岸壁本体製作



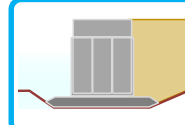
岸壁の本体となるケーソンというコンクリートの箱を、専用のフローティング・ドック（以下、FD）という船で製作します。



FDは海の中に沈みます！ケーソンは海に浮きます！！FDが沈むことで、ケーソンが浮き、海上を引って運ぶことができます。



ケーソンを所定の位置まで運んだら、海水を入れて沈めます。沈めた後、砂等を入れて重くしてケーソンが動かないようにします。



最後に、背後に土砂を埋めて岸壁が完成します。

事業の目的

苫小牧港西港区では岸壁が不足しており、年間1,266隻（平成29年実績）もの貨物船等が沖合で岸壁が空くのを待っている状況でコストがかさむ要因となっています。これを解消するため、過去に貯木場として利用されていたところを改良し、新たに岸壁をつくることで、効率的な物流の確保を目的としています。

事業の概要

施設名	数量
岸壁（中央北-12m）	230m
泊地（-12m）	13,000m ²
港湾施設用地	19,000m ²

工事担当者から一言

工事も山場を迎えています。安全第一で進めていきます。苫小牧港事務所 第一工務課 森田 第1工務係長



新人が紹介する防災について

防災対策官より

R2年度採用 佐々木事務官(入局1年目)

室蘭開発建設部防災対策官付の佐々木です！！
今回は、私が室蘭開発建設部の防災業務についてお伝えします！



室蘭開発建設部が行う「防災」とは??

公的機関における「防災活動」というと、避難施設やハザードマップの整備等の国民への働きかけを真っ先にイメージするかと思います。しかし、室蘭開発建設部が行う「防災活動」は、**直轄管理施設の対応や市町村への支援**を主としています。例えば、市町村への支援として、災害発生時に被災自治体へ早急に職員を派遣し、災害対策用機械の貸与といった各種支援メニューを提供します。

実際の防災業務は??

防災対策官が行う防災業務は、「**災害時業務**」と「**平時業務**」の大きく2種類に分類されます。「**災害時業務**」は、災害等が発生した際に生じる業務で、主に以下に挙げられるものがあります。

TEC-FORCE派遣

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)は、大規模災害時に迅速な被災自治体への支援を目的とし、平成20年に創設した組織。災害発生時には、職員が現地へ急行し、被災状況の把握や早期復旧に対する技術的支援を行います。なお、「令和2年7月豪雨」の際は、室蘭開発建設部の職員8名が九州地方に派遣されました。

被災状況調査の様子 (R2年7月豪雨)



リエゾン派遣

TEC-FORCEのうち、地方公共団体等との連絡調整を行う隊員をリエゾンと言い、情報収集や支援に係わる情報提供、技術的な助言等を行います。

給水支援車出動(R元年台風第15号)



災害対策用機械による支援

北海道開発局が保有する各種機械・機材を速やかに出動させ、被害の軽減を図ります。

また、1年を通して行われる「**平時業務**」は多岐にわたります。「災害時」の土台固めといった業務イメージとなります。以下に挙げるものはほんの一部です。

防災資機材の購入・点検

災害時においても、室蘭開発建設部としての機能を確保するため、様々な防災用資機材を揃えます。また、資機材の運用案策定や機材の点検も行うこととなります。

リヤカー点検



発電機点検



防災に関する訓練の実施

室蘭開発建設部職員の防災意識の掘り起こしや向上を目的とし、1年に数回、各種防災訓練を実施しています。

災害対策用機械操作訓練(R2.7)



災害対策本部設置訓練(R2.11)



衛星携帯電話通信

可搬式通信機器の運搬

危機管理演習(R2.8)



その他

- ・自治体等と連携した防災訓練の実施
- ・防災計画等の策定
- ・防災に関する広報 等...

国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 @mit_hkd_mr

【#TEC-FORCE 活動状況】

7月29日(水)

#熊本県 芦北町 において、#熊本県道272号の被災状況調査を行いました。早期復旧を目指して、引き続き調査してまいります。(道路班)

#ツクオース #緊急災害対策派遣隊 #令和2年7月豪雨 #いのちとくらしをまもる防災減災



TEC-FORCE派遣時には、隊員の活動状況をHPとTwitterに毎日更新しています。

佐々木事務官から今後の抱負



入局から約1年経過しましたが、未だに至らぬ点も多く、日々勉強の毎日です。これからもより一層国民の安全安心の確保に寄与すべく、いつ来るか分からない災害に全力で向き合っていきたいと思います！！